

創立記念日（6月1日）の由来

1. 沿革

昭和61年	1月	8日	学校法人西大和学園が、設置場所を北葛城郡河合町薬井 295 番地に定めて設立。
昭和61年	3月	15日	管理棟・校舎棟および体育館完成。
昭和61年	4月	10日	開校式・高等学校第1回入学式挙行。
昭和61年	6月	1日	竣工式を挙行。 来賓約 250 名の参列のもと、生徒・教職員が一堂に会して校舎の落成を祝い、将来の限りない発展を誓った。 そして、この日を創立記念日と定めた。
昭和63年	4月	4日	中学校第1回入学式挙行。
平成3年	4月		文部省（現 文部科学省）より「帰国子女教育研究教育機関」の指定を受ける。
平成4年	4月	7日	西大和学園青雲寮第1回入寮式挙行。
平成7年	6月	1日	創立10周年記念式典開催。 当時の与謝野文部大臣ほか、来賓約 300 名の参列のもと、生徒・保護者が一堂に会して創立10周年記念式典が盛大に行われた。
平成14年	4月		文部科学省より「スーパーサイエンスハイスクール」の指定を受ける。
平成17年	10月	1日	創立20周年記念式典開催。
平成22年	10月	9日	創立25周年記念式典開催。 当時の京都大学 松本 紘 総長をお迎えし、「科学技術と<大和>魂」をテーマにご講演を頂いた。
平成26年	4月		文部科学省より「スーパーグローバルハイスクール」の指定を受ける。
平成27年	6月	1日	創立30周年記念式典開催。 文部科学省事務次官 山中伸一氏をお迎えし、「これからの教育」についてご講演を頂いた。
平成31年	3月	17日	西大和学園清栄寮開寮
令和4年	3月	5日	高等学校卒業生総数 11,057 名となる。

2. 創立記念日の意義

今をさかのぼる 30 有余年前、西大和学園は創始者、田野瀬良太郎（現会長）によって奈良県北葛城郡河合町薬井 295 番地に設立されました。田野瀬会長の「国づくりは人づくりから」という信念を基に教育者としての情熱によって、西大和学園はわずかな期間に日本有数の進学校として発展を遂げ、「次代を担う高い理想と豊かな人間性を持った人材の育成」という崇高な建学の精神を具現化する教育を実践する現在に至っています。

私達は、常に過去を振り返りつつ学び、今後も引き続きより良き明日を目指して行かなければなりません。学校についても同様で、発展を続ける学校によき伝統が生まれます。いまを受け継ぐ私たちは現在の西大和学園がこのような歴史の上に成り立っていることを忘れてはなりません。

未来に向けて一人ひとりが心すべきことは、「すばらしい生徒があって、すばらしい学校が作られる」、「伝統は過去を振り返りプラスの付加価値を与えるときに築きあげられる」であります。また、一人ひとりが本学園に学ぶ喜びと誇りを持って、さらにすばらしい伝統を築き上げるよう願っています。